

# 舞鶴 第1号

<教育目標>  
自主・自律・豊かな心  
村上市立村上第一中学校 令和6年4月9日発行

## 入学式式辞

校庭の桜の蕾が力強くふくらみ、皆さんの入学を祝うように開花の時を迎えました。生命の息吹みなぎる希望の春を迎え、村上市教育委員会 小川 智也 様、市議会議員の皆様をはじめ、多くの御来賓の皆様、そして、保護者の皆様の御臨席のもとに、令和6年度、村上市立村上第一中学校の入学式を挙行できますことは、この上ない喜びです。御臨席の皆様へ、心から御礼を申し上げます。

76名の新入生の皆さん、入学おめでとうございませう。村上第一中学校は、全校生徒、全職員で皆さんの入学を、心より歓迎いたします。

今日から皆さんは「一中生」と呼ばれます。村上第一中学校は、その名の通り、地域に誇れる、歴史のある伝統校です。令和6年度の今年、創立55年目を迎えます。皆さんの後ろに座っている先輩達を始め、これまでの多くの卒業生が代々引き継いできた伝統を土台としながらも、生徒が中心となってこれまでの活動を見直し、現状維持を良しとせず、更なる高みを目指して改善を続けてきたおかげです。勉強はもちろん、学校行事や生徒会活動、部活動などに全力で取り組む姿はおおいにあなた方の見本となることでしょう。先輩たちの姿から、しっかりと学び、名実ともに、自信と誇りをもった真の「一中生」になってくれるものと期待しています。

さて、村上第一中学校には目指す生徒の姿が三つあります。まず一つ目は、「向上心を持って、挑み続ける生徒」です。二つ目が、「自分で考え、責任を持って行動する生徒」、三つ目は、「自他を尊重し、協力し合う生徒」です。

これらの三つの姿になるために、一つ目については、あまり慎重になりすぎずに、「まず、始める」ことです。中学校は教科担任制で、毎時間先生が変わります。生徒が中心となって活動する生徒会活動もあります。今後2年間で地域の活動に移行しますが、部活動もあります。そして、そこには新しい出会いもあるはずで、新しいことだらけです。分からないことがあるのは当然です。「分からないので教えてください。」と声に出して思い切って飛び込んでみましょう。分かるうとする気持ちや向上心は自分自身のエネルギーとなります。

二つ目は、自分で決めて、やり抜く、「強い自分」を見つけましょう。必ず自分の中にいます。誘惑に負けそうになる自分を、「それでいいのか」と止めてくれるもう一人の自分です。小学校の時よりも時間の使い方が大切になります。おうちの人に言われる前に、次の日の持ち物を準備し、自ら立てた計画で家庭学習し、自分の事は自分でやれるようになってほしいです。このような自分になるためには習慣化する必要があります。初めは無理のない範囲で、毎日同じ時間に、同じ場所で、同じ行動や分量をやるのです。それには土曜日や日曜日のような休みはありません。意識して取り組んでみましょう。

三つ目は、自分を理解して、自分の良さや弱さを知ることです。また、相手を思いやる心は、他者の良さや弱さを理解し、自分を大切にすることと同様に他を大切に思うことから育まれます。より良い人間関係づくりの能力を身に付けた人は、自ずと成長し、すべてを自分事と考えるようになり、自分の判断と責任で行動できるようになると思います。

最後に、保護者の皆様、お子様のご入学、本当におめでとうございませう。制服に身を包み、いよいよ中学生となる我が子のたくましく成長した姿をごらんになり、喜びもひとしおのことと拝察いたします。一方、これから思春期に入る子どもたちです。環境も変わり様々な不安やご心配もお持ちのことと思います。その不安や心配を、安心や信頼に変えるべく、私ども職員一同、最善の努力をすることをお約束します。保護者の皆様におかれましては、御理解、御協力をよろしくお願い申し上げます。

この76名の生徒たちが、村上の未来を支える人材として、健やかに成長できますよう、本日御臨席の全ての皆様方の御協力を重ねてお願い申し上げます。

令和6年4月9日